

# 各地からの便り



「各地からの便り」の詳細は

森もりスクエア

検索

## 「木育ひろば in チ・カ・ホ」を開催



【技術普及課】



1月20日、21日に、札幌駅前通地下歩行空間北3条交差点広場において北海道、公益社団法人北海道森と緑の会、北海道森林管理局主催による「木育ひろば in チ・カ・ホ」を開催しました。

北海道の木育を広く市民に知ってもらうことなどを目的としており、会場では木育活動を行う各団体の活動紹介や木育マイスターによる木工ワークショップ等、木育の取組に関係した様々なブースが設置され、北海道森林管理局では「もくねんさん（おがくず粘土細工）」の体験コーナーと「北の森カルタ」の展示を行いました。

## 「赤井川地域森林整備推進協定」を調印



【石狩森林管理署】



1月19日に赤井川村役場において「赤井川地域森林整備推進協定」締結の調印式を実施しました。

協定は、効率的な森林施業や路網整備の実施に連携・協力して取り組むこと、共同土場を設置し、民有林材の安定供給、ひいては民有林の森林整備を推進する環境づくり、村民等の森林づくりへの参加を目的としています。

※締結までの経緯や取組については、先月号の「民有林行政への貢献に向けて」にも記事がありますので、併せてご覧ください。

## 五稜郭保安林における害虫防除に向けたこも巻きの実施



【檜山森林管理署】



函館市街地に位置する五稜郭保安林では令和3年度から外来種の昆虫であるアメリカシロヒトリが大発生しています。このため、函館市内で街路樹での防除の研究を行っている三上修教授（北海道教育大学函館分校）によって、幼虫の捕獲に効果が確認された「こも巻き」による防除を試行しました。これは、幼虫が越冬のために隙間に潜り込む習性を利用し、羽化する前に蛹がついたこもを幹から外し、マツから害虫を除去するものです。冬に入りこもを外すと多くの蛹を除去できましたので、今後の状況を注視していきます。

## 銘木市に優良広葉樹を出品



【資源活用第二課】



北海道森林管理局では、人工林の森林整備を行うなかで伐採された広葉樹を活用するため、その販売を行っています。

銘木市には、道内の優良木が集まることにより、買い手が調達しやすくなること、多くの買い手が集まる市に出品することで、高値で販売することが期待できること、などから多くの売り手、買い手が集まります。

近年、広葉樹は加工技術の向上等により、従来はパルプやチップにされていた中小径木を有効に利用する動きがあり、活用が進んでいます。

広報 「北の森林 国有林」2月号

発行 林野庁北海道森林管理局

編集 総務企画部 企画課

〒064-8537

札幌市中央区宮の森3条7丁目70

電話 011-622-5213

HP <https://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/>

## 【ヤチハンノキとカワラヒワ】

水辺を好むヤチハンノキは、冬でも枝先に雌花序（右上）や果穂（右下）を付けるため、遠目に目立ちます。果穂の中に入っている種子は、鳥たちにとって冬場の貴重な栄養源となっています。



今月の表紙